



Title	被災者の健康支援における管理栄養士の役割と課題
Author(s)	廣石, 正富
Citation	大阪公衆衛生. 2012, 83, p. 8-9
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83361
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

被災者の健康支援における管理栄養士の役割と課題

大阪府枚方保健所 企画調整課 主査 廣石 正富

東日本大震災における派遣要請から出発まで

- 3月13日 関西広域連合の緊急声明  大阪府は岩手県を支援
4月14日 岩手県より県宮古保健所管内山田町栄養管理サポートチームの業務支援要請
4月21日 府保健医療室から府保健所・高槻市・東大阪市に派遣依頼
派遣要請から出発まで 宮古保健所より支援活動案と山田町避難所の現状事前提示

派遣期間とチーム構成及び活動内容

- 派遣期間：5月1日から6月3日
派遣管理栄養士数：10名（府保健所・本庁7名、高槻市2名、東大阪市1名）
チーム構成：大阪府Bチーム（保健師2名・管理栄養士1名・運転手1名）の一員として派遣
活動内容：□山田町栄養管理サポートチーム（4名）とともに、避難所での食事内容について栄養面のサポートを行う。
□山田町内織笠地区（3箇所）、豊間根地区（4箇所）の避難所を支援。

活動の実際

〈派遣前の活動案〉

- ・避難所全体の食環境整備、炊き出しへの助言。
- ・栄養、食生活支援が必要な方へ栄養相談、助言、食生活支援。

〈避難所における提供食の状況把握〉

- ・献立内容、食事状況、配送食品等の使用状況や食材入手経路の現状把握。
- ・提供食の1人分材料分量を調査。

〈避難所における食事提供の課題〉

- ・在庫管理ができないため、配送品が過剰傾向。
- ・給与栄養量が国の参照量を満たしているか未確認。
- ・衛生管理が不十分。
- ・被災者個人への食事状況聞き取りは困難。

〈課題解決に向けた支援方針〉

- ・配送食品等の在庫管理と、在庫食品を活用した自炊が避難所自力でできるようにする。
- ・提供食の栄養量を把握し、過不足の確認をする。

〈支援方針に基づく活動内容の決定〉

- ・避難所の在庫食品を確認し食材料在庫確認票を作成。
- ・避難所炊事リーダーに在庫確認票の記入と在庫食品を活用した提供食の調理を助言。
- ・炊事リーダーへの献立聞き取り ⇒ 提供食1人分の栄養量を算出。
- ・定期的に避難所を巡回し、在庫確認ができていないかの確認と助言。
- ・提供食の内容確認を継続し、在庫食品を活用した献立のヒントを助言。

活動の成果

【在庫管理】

- ・在庫確認票の記入、活用が定着し、計画的消費が可能になった。
- ・山田町以外の避難所でも活用。

【提供食の栄養量の把握】

- ・献立聞取り用紙の変更。(栄養価算出可能)
- ・活動で使用した食事調査方法、記録様式を活用。
- ・避難所食事調査を月2回実施。(派遣終了後)

避難所提供食の栄養量について

避難所における食事提供の計画・評価のための当面の目標とする栄養の参照量(国の基準)
被災後3ヶ月までの当面の目標としての参照量(エネルギー・たんぱく質・ビタミン B1・B2・C)

《提供食栄養量調査結果》

山田町避難所7箇所の提供食について聞取り調査を実施。(5月上・下旬、各避難所延べ4～5日)
結果 国の参照量との比較ではエネルギー、ビタミンの摂取不足傾向。

参照量すべての項目が不足⇒避難所3箇所 ビタミン B1,B2 が不足⇒避難所5箇所

《結果を踏まえての対応》

- ・ビタミンの不足傾向対策として、強化米の配布を実施。
- ・献立作成の参考にする。

支援活動から見えた課題および今後の取組と管理栄養士の役割

【自治体】

- ・都道府県、保健所、市町村の役割を明確にし、連携が必要。
- ・保健所、市町村において、初動段階で即対応できるシステムの構築が不可欠。
- ・自治体管理栄養士として支援活動のできるよう、支援者として資質を高める研修や訓練を重ねることが必要。

災害時における 管理栄養士の役割

生命と健康を守る
栄養・食生活支援

[大阪府保健所管理栄養士の取り組み]

「行政栄養士の健康危機管理マニュアル」を作成予定。

【給食施設】

- ・施設内危機管理マニュアルに、災害時発生時の食事確保(給食提供)等に関する項目の明記が必要。「1給食施設」も考慮を。
- ・安定的な給食提供に向けた備品の確保。
- ・地域住民も含めた「助け合い」を視野に入れ、施設間、地域との連携等ネットワーク作りが必要。
- ・関係者の意識を高める研修や訓練を、日頃から実施する。

[大阪府保健所管理栄養士の取り組み]

- ・医療機関立入検査時の栄養部門重点項目として、危機管理マニュアルの有無やその内容等について確認、助言。
- ・危機管理の講演会・研修会を実施。